



ふれあい 放水路

1995
(平成7年)
第16号
7月



アユ解禁

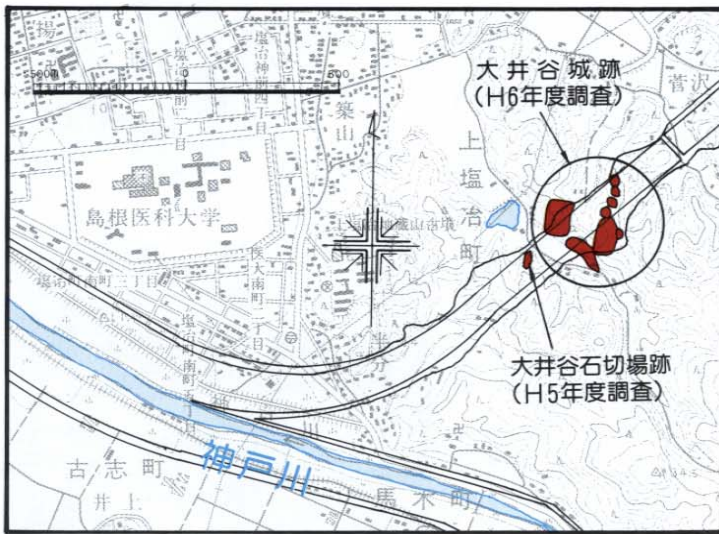
七月一日午前八時、梅雨の最中とは思われないほど晴れわたった空の下、六月十五日の竿釣りに続いて神戸川の投網によるアユ漁が解禁になり、この日を待ちに待った人たちは、解禁されるや否や川へ入り、今年はじめの投網漁を楽しみました。

投網漁は、まず、浅い所から上流の深みへアユを追いやりませす。そして、行き場をなくし、群れになってぐるぐる泳ぎ回るアユに向かって網を打ちます。

川石につくコケをエサとするアユは石の多い場所に生息します。そのため投網を打つと、網の先についている鎖が石により沈まず、隙間ができてしまうので、そこからアユが逃げないよう、素早く石と石の間に鎖を落として捕えます。

今年は例年と比べ水温が低く、獲れる数はいまひとつのようですが、これから夏本番、アユ漁も本格的になっていきます。

発掘調査場所



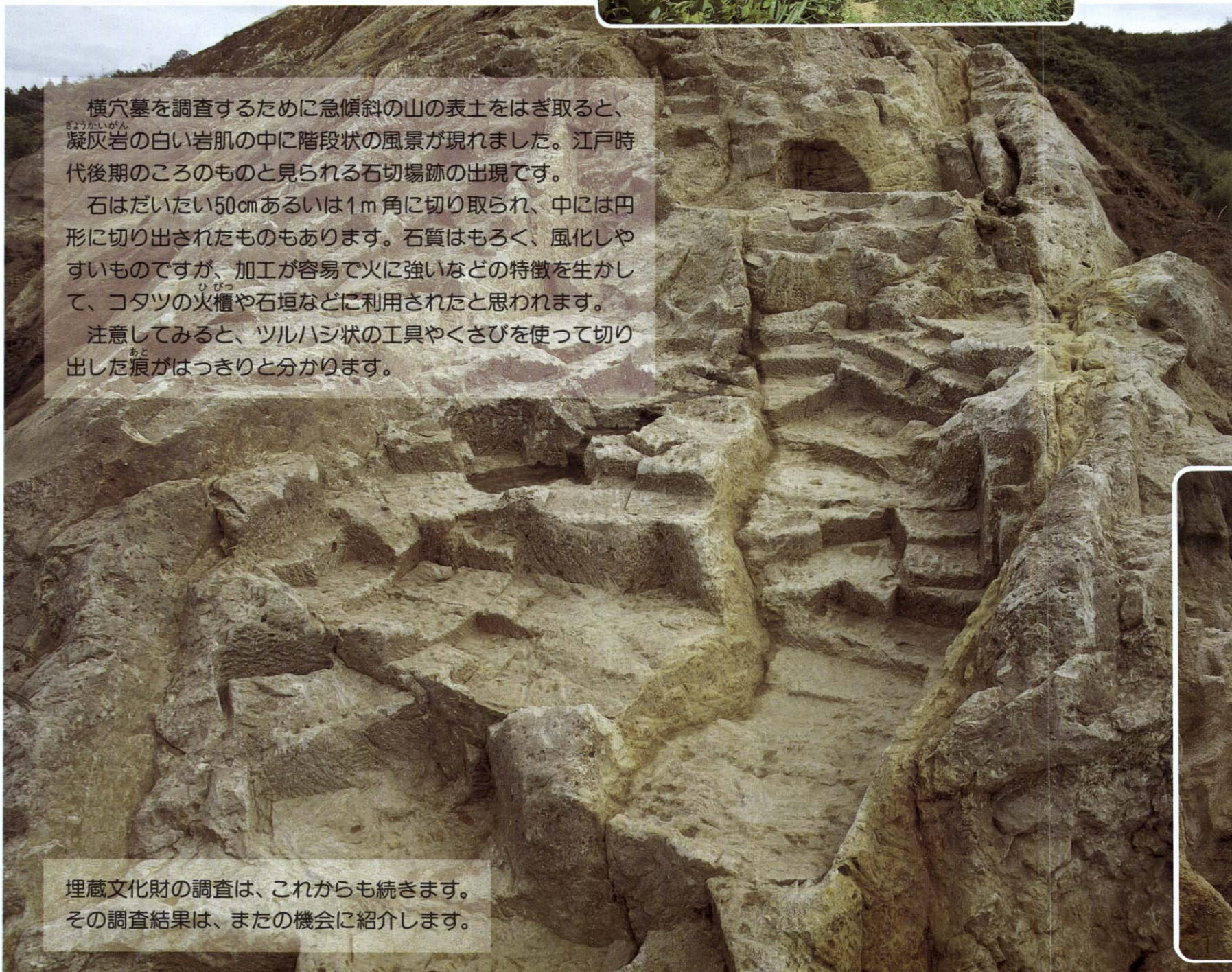
▼ 調査前



放水路事業予定地の埋蔵文化財

～ (3) 大井谷城跡及び大井谷石切場跡について～

これまで2回にわたって埋蔵文化財についてお知らせしてきましたが、最後に「大井谷城跡」と「大井谷石切場跡」について紹介します。



横穴墓を調査するために急傾斜の山の表土をはぎ取ると、凝灰岩の白い岩肌の中に階段状の風景が現れました。江戸時代後期のころのものと思われる石切場跡の出現です。

石はだいたい50cmあるいは1m角に切り取られ、中には円形に切り出されたものもあります。石質はもろく、風化しやすいものですが、加工が容易で火に強いなどの特徴を生かして、コタツの火櫃や石垣などに利用されたと思われます。

注意してみると、ツルハシ状の工具やくさびを使って切り出した痕がはっきりと分かります。

埋蔵文化財の調査は、これからも続きます。その調査結果は、またの機会に紹介します。



大井谷城跡を南から見る



石切場跡発掘作業風景

大井谷城跡は出雲平野を見下ろす山の頂上にあります。地元の人々は「要害山」と呼んでいますが、文献の上では明らかになっていません。

頂上は平らに形作られ、簡単な見張り台がありました。大変見晴らしの良い場所です。

ここは常に住んでいた訳ではなく、緊急時に使われていたと考えられ、遺物はほとんどなく、柱の跡だけがはっきりと残っています。

ふれあい
放水路
通信

草の堆肥化実験について

出雲工事事務所では、毎年堤防除草を実施しています。

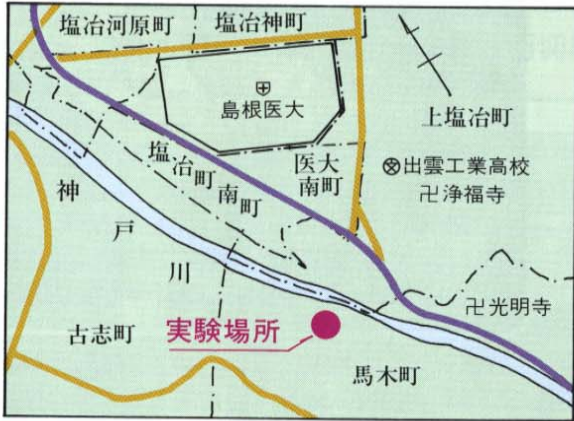
今までは、除草した草は現地で焼却処分していましたが、将来、草を資源とし、リサイクルを実現するため、今年度から三ヶ年をめぐに、堆肥化実験を行います。

実験では、米ヌカなどの発酵促進材を草に加え、二、三ヶ月で堆肥にする予定です。

実施にあたっては地元のみならずさまに迷惑をお掛けしないよう努力いたしますので、ご協力をお願いします。



位置図



みんなで花を咲かせよう
ふれあい広場 種まき会

六月十八日、上塩冶町半分地区にある建設省監督官詰所横のふれあい広場で「種まき会」を行いました。参加したのは、近所のひかり保育園のみならず、地元関係者の方、工事関係者で、ひまわり、コスモスの種をまき、花だんにはサルビア、ペチュニアなどの花を植えました。

監督官詰所というところつきにくい印象がありますが、こつこつと四季折々の花で飾ると、地元のみなさんにも親しみや安心感を持っていただけるのではないのでしょうか。

近くを通りかかった際には、ふれあい広場に気軽に立ち寄ってみてください。

河川愛護月間
ポスター・作文展示のご案内

小・中学生を対象に、河川に関するポスター・作文を募集しましたところ、総数二〇二点の応募がありました。これらの作品を展示いたしますので、ぜひお出かけください。

- ◆とき 七月二十四日～二十六日
- ◆ところ 出雲市内 パラオーフ プラザホール



建設省中国地方建設局
出雲工事事務所
〒693 出雲市塩冶有原町5丁目1番地
☎(0853)21-1850



7/21▶31 森と湖に親しむ旬間
光かがやく森と湖に人の輪を広げよう

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。
問い合わせ先：ふれあい放水路担当